



広島土砂災害 特集⑩

国と市が早期の復旧に全力を!

八木8丁目 住民の要望を聞き取り、市に対策を要望



9月3日

地元の方から要望を聞き取る市議団

八木八丁目の被災現場に行き、町内の代表の方に話を聞きました。

大きな石がごろごろと、土砂とともに5mも積み上がり、民家の一階部分は土砂と岩で埋もれ、自動車までが民家の中に埋もれている状況です。膨大な土砂と大きな岩の撤去は、ボランティアでは困難なため、国土交通省が土砂と岩の撤去をすることになりました。

地元代表は400人ものボランティアへの感謝を述べつつ、次の要望をされました。

- 八木用水が土砂と岩で埋まり、山水の行き場がなく、少し強い雨が降ると、また民家に浸水しかねないので早期に八木用水を上下方向から復旧してほしい。
- 土砂や自動車、岩石の撤去の目途をたててほしい。(狭い道路のため、大きな重機は入りません。そのため、住民同士の話し合いで、壊れていない民家の塀を壊して、重機が入れるように合意を住民間でとったとのことでした。)
- 山水を排水する仮設ポンプを民間事業者が好意で設置しているが、いつまでも民間に頼れない。市の責任で山水を排水する対策を講じてほしい。

調査を終え、すぐに下水道局に対策を求めました。

八木用水



被害家屋に不安をお持ちの方へ

Q 自宅が被害を受け、壁がひび割れしているが、このまま自宅に住んでも大丈夫かどうか不安です。専門家に調査をしてもらえませんか?

A 9月2日から、建築相談窓口を開設しました。市が委託した民間の建築士協会などの建築士2名が対応します。被害家屋の調査に出向く支援を始めています。相談は無料です。必要であれば、現地調査に出向きます。

この家屋相談は、全壊・半壊・一部損壊など被害状況を罹災台帳に載せるための調査ではなく、あくまでも居住に関して不安のある方のための相談です。予約が必要です。

安佐南区 建築課 831-4952

安佐北区 建築課 819-3938